NPO 法人千葉自然学校 ニュースレター

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2021 夏
vol.28

海へジャンプ！大房岬の海岸は入り組んだ岩場がたくさん。夏の冒険を楽しもう！（南房総市 大房岬自然公園）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

千葉自然学校は、持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。

もくじ

□不易流行 …2
□ろくすけ日和 …3
□千葉シニア自然大学 …3
□3月～6月の現場レポート …4～5
□受託・ネットワーク事業 …6
□千葉県立君津亀山青少年自然の家 …7
□南房総市大房岬自然の家
千葉県立大房岬自然公園 …8～9
□ちば・体験活動ネットワーク
団体紹介・会員校フィールド紹介 …10～11
□千葉自然学校スタッフ紹介 …12

不易流行

理事長　久保田　康雄

依然として新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めかからない状況が続いています。ワクチン接種については、医療関係者、高齢者から始まり、少しずつワクチン接種完了者が増えつつある現在にあります。もうしばらくは、マスク、手洗い、３密を避けるなどの行動様式を続ける必要があると思われます。本当に大変な世の中ですが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

さて、千葉自然学校では、５月２５日「古民家ろくすけ」の土蔵の修復作業を行うために職員が集まりました。ろくすけは、子どもや都会の人たちに、自然体験や古民家体験を提供するために整備している施設です。江戸時代末期に建設されてから長い年月が経ちました。そんなろくすけの母屋の隣にある土蔵の修復作業をここ数年、左官の棟梁や職員やシニアボランティアなど多くの人の手によって進められてきました。最後の仕上げとなる作業は、土蔵の壁に漆喰風の白いモルタルをコテで塗っていくとても魅力的で充実感のある作業です。しかし、思っていた以上に大変で、かつ繊細な作業でありました。棟梁の指示に従い、モルタルを捏ね、下塗りをし、上塗りを重ね、仕上げは棟梁にチェックしてもらいます。乾いた後は、表面に刷毛で模様付けて終了です。この作業は区切りごとに同様の作業を繰り返しながら行っていきます。丸１日掛かって、壁を塗り終えることができましたが、すべて塗り終えるには、あと数日かかるとのことです。作業を終え、自分たちの手できれいに仕上げた土蔵の真っ白な壁を見ている職員たちの表情はとても満足げでありました。是非、今度みなさまも見に来てください。

話は変わりますが、令和３年４月、「新型コロナウイルス感染拡大に関する自然学校等への影響調査」が実施されました。昨年度の経営状況や自然体験活動の実施状況について、全国１１０の自然学校等を対象に実施した全国的な調査です。集計の結果、次のような影響が出ていることがわかりました。①多くのプログラムが中止・延期となり、６割の団体で参加者が半減しているという状況であり、依然として多くの自然学校の経営が悪化し、存続の危機に直面していること。②主催プログラム、修学旅行や移動教室等の受託プログラムの中止・延期に伴い、生きる力を育む体験の場や自然とふれあう機会が新型コロナウイルス感染拡大前と比べて減少していること。そして、そのための対策として、③自然体験活動の重要性や身近なフィールドでの活動方法や情報を発信する等、コロナ禍であっても体験活動を止めないための情報発信を行うことが重要であること。また、そのためには、自然学校等同士による安全対策に関する意見交換会・研修会の定期的な開催が必要であるとしています。

そのような中で、この春、千葉自然学校は、感染防止対策を行い、細心の注意を払いながら、事業規模を縮小して実施しています。参加者の定員を半分に抑えること、参加者の事前・事中の健康チェックを行うこと、３密にならないような運営方法をとることなどの防止対策を徹底し、事業を実施しました。ゴールデンウイークでは、笠森キャンプ場でのファミリーキャンプと「古民家ろくすけ」での古民家体験プログラムを実施しました。また亀山湖では、子どもを対象にしたカヌー体験プログラムを実施しました。いずれのプログラムも定員を抑えていますが、キャンセル待ちが出るほどの盛況ぶりでした。コロナ禍においては、アウトドアの企画に対するニーズがとても高いという印象があります。

このニュースレターが出るころには、夏休みのプログラムの準備も進んでいることと思います。安全で楽しい企画をできるだけ多く立案し、しっかりと運営していきたいと考えています。今後とも千葉自然学校の事業をよろしくお願い申し上げます。

不易流行…いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。
また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。

ろくすけ日和『棚田＆カラスの話』

千葉自然学校では、築200年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進め、子ども・大人のキャンプなどで皆が過ごしやすい場所を目指しています。時々テレビにも出ています！

５月末の日曜日、平久里下地区のゴミゼロ作業にボランティアの田邊さんと参加しました。着替えに「ろくすけ」に行く途中、棚田をみるとテントが数張り張られて、子どもの姿が見られました。

荒れている棚田を利用してテントサイトを作ろう…という昨年秋からプロジェクトがスタートし、実現したのです。キャンプ用品や水を運び上げ準備したスタッフの苦労は大変だったと思いますが、棚田で遊ぶ子どもの姿はのびのびとしていました。

水場や日陰を作ったり、道を固めたりとこれからもやることは山ほど有りますが、放棄された場所をみんなの手で整備しながら、子どもから大人まで楽しめる場をみんなで作ってゆく…これが本当の遊びではないかなと思っています。そして、自然を楽しむ遊びが里山環境の保全に繋がり地域にとっても役立っていったらどんなにいいことでしょう。

もう一つ、「ろくすけ」の話。生ゴミを捨てに行くたびに、コンポストの蓋が外れて脇に転がっています。蓋の上に、ブロックを２つ割りにして２個載せているのでそう簡単には外せないはず…。賢いカラスのせいでした。このカラスは、屋根の茅も抜き取ります。遊びなのか、巣作り材料なのか、お陰で屋根はやせ細り、茅を抑えている竹があらわになってきました。困った！

（文：遠藤陽子／サニー）

千葉シニア自然大学 ～2021年度・新型コロナ禍で講座開催～

昨年度は新型コロナウイルスの猛威の前に講座を中止せざるを得ませんでした。今なおコロナ禍ではありますが、ワクチン接種が始まり、特にシニア層は早い段階で接種済みとなりそうな見通しです。

３月末頃は緊急事態宣言の再発布のニュースに実施の可否判断に悩む日々でしたが、ワクチン接種の見通しなどから４月開講を２ケ月順延し、６月開講に見直し、講座を開始する事にしました。

本科は２名の辞退者が出ましたが１９名の方が、専攻科はＡコース、Ｂコース、Ｃコースで６８名の総勢８７名の方々が受講に参加されました。

ワクチン接種が済むまでは主に野外授業を主体とし、座学は広い会場を用意し、それぞれ感染対策を取りながらの授業を進め始めた所です。

本科の１回目の授業は、大房岬自然公園の森林セラピーで、ウオーキングやハンモック体験などを、また午後からは側の原岡海岸に降りて素足で浅瀬のウォーキング（タラソテラピー）で、心身のリニューアルに浸りました。引き潮の時間帯だった遠浅の原岡海岸は静かな波で、素足に海水が気持ちよく、桜貝も沢山転がっていて幾つかを持帰りました。

この先もコロナ禍での授業が続きますが、用心深く、楽しく、賑やかに進めて行きたいと思っています。

（文・写真：本科事務局・吉岡章次）

３月～６月 主催事業現場レポート

こども

ワイルド秘密基地キャンプ

3/26(金)～28(日) 大房岬自然公園　第２キャンプ場
秘密基地・テント泊/アウトドアクッキング　たき火　クラフト

みんなで協力して大房岬の森の中に秘密基地を作りました。動物たちの住む森の中に作るので、ガムテープやブルーシートなどは使わずに枝や麻紐、ツタなどの自然に帰る素材で作り上げました！生活の面でも、自分たちでテントを建て、火を起こしご飯を作り、夜も焚火で暖を取り「ワイルド」な生活を楽しむことができました。

焚火を囲み、
次の日の作業についてなど
熱く語り合っていました。

（文：清水旭／くま）

こども

GW 恒例！亀山湖でカヌー・釣りで遊ぼう！

カヌー＆フィッシングキャンプ

5/1(土)～3(月祝) 千葉県立君津亀山青少年自然の家
施設泊/カヌー体験　釣り　たき火

毎年恒例のカヌーと釣り体験。今年はコロナ禍、参加人数を抑えて１６名の子どもと一緒に亀山湖で行いました。
強風の中のカヌー体験は、場所を選びなんとか漕ぐことができました。釣りは簡単！使うのは道具と掘ったミミズだけ。とてもシンプルな仕掛けで大物が釣れました。

新緑の季節、
カヌーに釣り…
亀山湖は最高です♪

（文：佐藤昭仁／アリ）

親子

君亀湖でのんびりカヌー体験

親子カヌーツーリング

5/4(火祝)、5(水祝) 亀山湖　小学１年生以上の親子
日帰り/親子でカヌーツーリング

１４名の参加がありました。カヌー初体験の人でも、準備体操ののち、簡単なレクチャーを受けて早速湖面へ！パドルで水をつかむ感覚を掴めば、湖面はパラダイスですね。風がない場所を上手に選んで、湖面をスイスイと進む感覚はもう病みつきでしょうか。いつもとは違う、水の上での楽しいひと時を楽しんで頂きました。

水の上を、自分の力で
進む感覚は病みつきに
なりますね！

（文：高田拓実／たくやん）

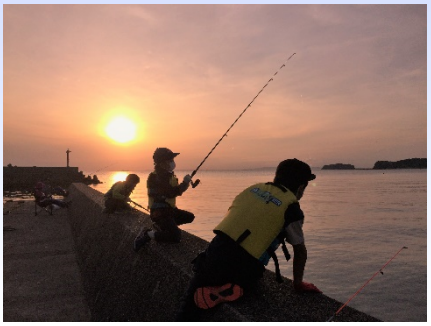
こども

海近の民宿泊で朝夕釣り三昧！

房総探検隊海釣りキャンプ

5/15(土)～16(日) サンセットビーチインかわな
民宿泊/釣り

海が目の前の民宿で宿泊した釣り三昧のキャンプでした。自分達で釣り糸やリールをセットして、いざ海岸へ出発！初めて生きた餌を触る子はドキドキしながら針に付けることができました。釣れた魚は民宿のご主人により美味しい唐揚げに。釣りも準備も皆で助け合いながら過ごす様子が多く見られた２日間でした。



日が暮れるまで
頑張って釣った魚は
格別に美味しかったね♪

（文：菊地夏代／モンキチ）

こども

大房岬の磯場は生き物の宝庫☆

房総探検隊磯遊びキャンプ

6/12(土)～13(日) 南房総市大房岬自然の家
施設泊/磯遊び　海遊び　釣り

磯遊びでは網とバケツを持って、海藻の中や岩の下をガサガサ…。カニやエビ、ハゼなどの生き物をとることができました。夜は前日に捕まえておいた海ほたるの観察会もしました。初めて見る海ほたるの発光にみんな大興奮！２日目はタイドプールに迷い込んだイワシやサバもとることができました！「海づくし」の２日間をみんなで満喫しました。

初めて見る海ほたるに
みんな夢中！

（文：清水旭／くま）

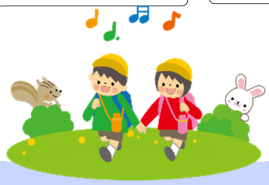
令和3年度

千葉自然学校イベントのご案内

令和３年度７月～９月夏・初秋キャンプイベント、募集中です！
ご予約がまだの方はお早めにどうぞ★
小規模での開催となりますが、皆様のご参加をお待ちしています。

詳しくはHPへ！

千葉自然学校　検索



≪受託・ネットワーク事業≫

「環境教育関東ミーティング 2021　第２回目　増え続ける獣達。獣と人の関わり方を考える」

環境教育ミーティングは２００５年にスタートし、環境教育、自然体験活動などに関心を持っている方の実践発表や情報の共有、研修や交流の場として開催されてきました(例年、１泊２日で実施)。当法人からは白井と庄司が実行委員として関わっています。今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、千葉発信の「これからの人と自然の関わりを考えるオンライン座談会」と題して全３回を企画しました。

第２回は「増え続ける獣達。獣と人の関わり方を考える 」ということをテーマに、獣害対策や里山の有効活用、獣害駆除された獣の利活用、また次世代の担い手育成などに最前線で取り組まれている二人の方からお話をいただき、７０名以上の多くの方にご参加いただきました。

第３回は９～１０月に「自然環境を守ることと人の営みとの関係」をテーマに実施します。興味ある方はぜひご参加ください。詳しくはHPをご覧ください。　環境教育関東ミーティング　検索

（文：庄司達哉／しゅれっく）

にぎわっています！体験農園 in 岩名

「体験農園をやっていてよかった」

昨年、農園で何度も耳にした会話です。緊急事態宣言が発出され、人の集まる場所にはいかない、仕事もリモートワーク、外ではマスクという自粛生活の中で、マスクを外し、汗を流し、行けば変化（成長）している野菜たちがいる農園の存在は、利用者の皆さんにとって、大切な場になっていたようです。

今、夏野菜が太陽を浴びてグングン育ち始めています。管理もそれなりに大変で、農園はとても活気があります。収穫も始まりました。農園で体を動かして、愛情をかけたおいしい野菜を家族で食べて、ご近所さんやお友達にお裾分けしたりして、みんなに笑顔が生まれて。体験農園 in 岩名がそんな場所であり続けられたらと思います。

（文：佐藤玲子/かつを）

ハウス「食と農と環境の体験教室」初のオンライン開催

昨年度はコロナの影響で中止となった体験教室、今年度はオンラインで開催中です。これまで、千葉会場は首都圏の方が対象でしたが、オンラインの今年度は、北海道から沖縄の方まで全国からのご応募がありました。

ハウス食品主催で「食」「農業」「環境」がテーマのこのイベントは、ハウス食品が行っている環境への配慮やフードロスへの取り組みのお話を聞くことができたり、余り食材で作るフードロスカレーの料理教室があったり、自宅でバケツ稲作りにチャレンジしたりと盛沢山。千葉自然学校は、今年も佐倉みどりネットの皆さんと共に、体験教室を盛り上げていきます！

～ハウス食品の取組紹介～おもしろいです。ぜひのぞいてみてください。　（文：佐藤玲子/かつを）

「もっとカレーだからできること プロジェクト」

もったいない」のない世界の実現 「彩るスパイス時間 CRAYONS」

～きみかめ便り～

千葉県より指定管理を受け、「君津亀山青少年自然の家」の管理・運営を行っています。清澄山系から連なる自然度の高い森の中に建つ、最大宿泊者数３００人規模の施設となっています。プラネタリウムの投影や芝の斜面を生かした芝すべり、カレーや石窯ピザなどの野外調理、思い出のクラフト作成など４７種類ものアクティビティをご用意しております♪

千葉県立君津亀山青少年自然の家

千葉県立君津亀山青少年自然の家　所長 庄司達哉

「見る目がある」

物事を正しく評価する能力があるという意味の「見る目がある」。見る目を養うためにはどうしたらいいのか、仕事を進める上で悩むことが多いです。

話は少し変わって、今年の春は「ノビル」採りを楽しみました。それまでノビルが生えていることに気がついていなかった草むらにノビルを見つけてからは、時間が出来るとノビルを採りにいっては酢味噌和えや天ぷらにしました。ノビルの根元の玉状の部分までうまく引き抜けた時は思わず笑顔になります。不思議なことにノビルを採るのに慣れてくると、それまではただの草むらと思っていたような場所でも、たくさんの草の中からノビルが目に飛び込んでくることがあります。ノビルを見る目がついたということでしょうか。見る目を養うためには、まず相手に興味をもち、よく観察すること、よく知ること、それがスタートではないかと思います。

きみかめ掲示板

【イベント報告】

5/9（日）　きみかめ森のようちえん①春の森遊び♪

今回の森のようちえんは、新緑の綺麗なきみかめの森の中で活動しました。まずはみんなで森探検へ。森の中を歩きながら、きみかめに住む動物たちの足跡を見たり、花の匂いを嗅いでみたり、触ってみたり、自然を全身で感じました。次は森に入ってお題をクリアしながら森の宝さがし！いつもよりもちょっとだけまわりをよく見るとたくさんの発見があり、子どももきらきらと目を輝かせていました。温かい春の陽射しの中、春の森を遊びつくしました。　長瀬

【自然情報】

子育てに奮闘中

きみかめでは徐々に気温も上がり、ツバメが子育てに奮闘する姿を見る事ができます。子育てに使われる巣は泥や草を固めて作られていて、一度作れば何年も使える優れものです。しかし、天敵などに巣を壊されてしまうこともあるため、今子育てをしているツバメたちを見る事ができるのは貴重です。皆さんの身近にもツバメが子育てをしているかもしれませんね。その時はそっと成長を見守ってあげてください。　武田

～たいぶさ便り～

南房総市、千葉県よりそれぞれ指定管理を受け、「大房岬自然の家・食堂」「大房岬自然公園」の管理・運営を行っています。

海と森の両方を楽しめる豊かな自然を活かしたプログラム・イベントが人気で、地元の方や千葉県内の方はもちろん、県外からも多くの方々が訪れます。

南房総市大房岬自然の家　所長 神保清司

５月後半から小中学校の宿泊学習の受け入れが始まりました。出発地の状況と南房総の状況を注意深く観察しながら行事催行に至っています。体験活動中はニューノーマルの原則を守りつつも、広大な海と森の広場で思いっきり深呼吸して体を動かします。自粛生活に疲れて子どもの体力は落ちています。もしかしたら心も乾いてしまっているかもしれません。自然の中で活動することは心身に潤いを与え、本来の自分を取り戻すことができます。子どもにとっては人生の中の１１歳・１２歳の貴重な１ページを飾ることが出来ます。生き生きと躍動する子どもを見ていると、やはり自然体験活動を止めてはいけないと心から思います。

千葉県立大房岬自然公園　公園長 山口亮介

コロナ禍という事で野外でのアクティビティが注目されるようになり、ここ１年ほどでキャンプの人気が随分高くなってきました。しかし、人気が出ればそれに比例してマナーの悪い人も増えてきているようで、キャンプ場の様々なトラブルがニュースでも取り上げられてきています。

大房岬のキャンプ場も平日休日問わず多くの方にご利用いただいていますが、やはり騒音、ゴミ、直火での焚火などのトラブルの発生も出てきています。このキャンプ人気が長く続いてくれるよう、全ての人に気持ちよく使ってもらえるキャンプ場にしていきたいです。

株式会社 体験と健康　料理長 松田光央
（南房総市大房岬自然の家食堂、千葉県立君津亀山青少年自然の家食堂 運営）

４月から君津亀山青少年自然の家の料理長が新しい方になりました。和食を中心に活躍されていた市来昭さんです。よろしくお願いします。

この度、ご縁があり君津亀山青少年自然の家で、料理長を務める市來です。どうぞよろしくお願い致します。

料理の道に入り３０数年たち、四季を通して山の食材、海の食材、野の食材を伝統を重んじ、今の時代に合う調理を心掛け、食を通じて健全で健康な体作りを目指し、食物アレルギーを配慮し、安心、安全な食事を調理して参ります。

taibusagram

大房岬の
とっておきの瞬間
をご紹介します！

いいね！141件

Taibusa-misaki

陽にあたる貝殻

自然の家ではフォトフレームやネイチャークラフトで貝を使ったプログラムがあります。貝はお客様自身が海岸で集めたものを使う以外に、事前に自然の家スタッフが集めたものを使うことがあります。

大房岬や近隣の海岸で集めた貝は丁寧に洗浄してゴミや砂を取り除き、自然の家の玄関などで干しています。キラキラと陽にあたった大小の貝の山をよーく見てみると…サンゴがあったり、溶岩があったり、色とりどりなシーグラスがあったりと、まるで宝の山のようにも見えます。この宝の山がどんな作品に生まれ変わるのかな？そんな事を思っておひさまの下、貝を広げて干しています。

海からの贈り物を使ったプログラムを通して、海の恵みや、自然の美しさを感じてもらえたらいいなと思います。

伏谷

#海　#ビーチコーミング　#海からの贈りもの

たいぶさ岬掲示板

イベント報告

磯の生き物発見ツアー

４月・５月に実施したツアーでは、今年もたくさんの生き物を観察することができました。初めて海で遊ぶ子どもはヤドカリやナマコに目を輝かせていました。
また来ます！とのお声もいただけました。

生き物の探し方や自然の楽しみ方を感じていただけたと思います。

伏谷

イベント報告

大房岬満喫　体験つき宿泊プラン

ご家族が泊まって楽しめる宿泊プランを実施しました。
磯場でハゼを釣りすぐに唐揚げにして食べてみる。
プラネタリウムで見た星を実際の夜空で見てみる。
たき火でチョコフォンデュを作ってみる。ちょっとしたコツがあれば楽しめる体験です。２日間でスキルを身に付けていただけたのではないでしょうか。今度は是非ご家族でアウトドアにチャレンジください。

白井

生きもの紹介

ベンケイガニ

暖かい時期になると公園内の水場の近くでたくさん見ることができるカニです。アカテガニととても良く似ていますが、目の外側にトゲが２つあるのがベンケイガニです。大房岬ではベンケイガニもアカテガニも生息しているので、ぜひ２種類とも探し出して見比べてみて下さい。
※挟まれるととても痛いので、捕まえずに観察することをお勧めします。

清水（旭）

≪ちば・体験活動ネットワーク≫ 千葉を元気にする会員校をご紹介！

千葉自然学校は、**ネットワーク型自然学校**として
『自然体験活動を通して千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指す』という趣旨に賛同頂いた県内の体験活動団体を中心とした皆様が、**『千葉自然学校ネットワーク会員校』**としてネットワークを形成し、環境保全や地域振興を図ることを目的として設立されました。
県内外からの教育旅行や、拠点である青少年教育施設での体験受入、その他様々な事業連携の取組を行っております。

森林塾かずさの森
岩田　和久さん

年中行事　動物　自然体験　生物　林業

森林塾かずさの森は、「昭和３０年代の持続可能な生活体験場」を目指し、県下一の野生的な森で様々なプログラムを提供している団体です。今回は団体を立ち上げた経緯やコロナ禍での運営についてお伺いしました。

～多様性の森作り～

森の恩恵の数々に着目したプログラムを提供し、より多くの方に実感して頂きたいと思っています。森で衣・食・住・エネルギーに関して自給的暮らしを実践し、自由で自立した人間の体験場所として活動を提供しています。

【団体を立ち上げた経緯や想い】

森に居ると気持ちがいいので、是非たくさんの方にその森の心地よさを体感していただきたくて立ち上げました。

【コロナ禍での運営の仕方や、対策などを教えてください】

コロナ禍で体験プラグラムの殆どは中止していましたが、徐々に再開しているところです。また、森林を使ったテレビ放送のロケの対応もしています。

【今後の展望】

森や生き物の凄さに感動して下さる方が多いので嬉しいです。命溢れる豊かな森作りに励みたいと思っています。森が果たす健康増進プログラムを作って多くの方に体感して頂きたいと考えています。

取材：香山正幸（かやまん）

白浜オーシャンリゾート
小澤 征充さん

宿泊

白浜オーシャンリゾートは、房総半島最南端にある全客室オーシャンビューのリゾートホテルです。自然学校とのつながりや今後の展望など、インタビュー形式でお伺いしました。

Q１.小澤さんの経歴をお聞かせください

東京都の旅行会社で、個人旅行の企画造成やカウンター業務などを 13 年勤め、妻の実家である千葉県南房総市に 2005 年に移住しました。つながりのあったリゾートホテル「リゾートイン白浜（当時のホテル名称)」に勤務し、現職（白浜オーシャンリゾート）に至ります。2007 年に東京都の私立小学校がリゾートイン白浜に宿泊することとなり、その学校の体験のコーディネートを手掛けることとなりました。

Q2. 千葉自然学校とのつながりを教えてください

2007 年ころ自然体験活動について詳しい団体を探していたところ、千葉自然学校を紹介されました。土居さんという当時のスタッフの方とつながり、ナイトハイクやハイキングなどをお願いし、充実した宿泊学習となるよう連携したのが始まりです。

Q3 .活動中のやりがいや楽しみについて教えてください

ホテルマンでありながら、現場に出て子どもと自然の中で活動することが楽しく、学校の宿泊期間中は旅行会社の添乗員さながら、活動に同行しました。

また、個人宿泊客向けには、南房総エリアの観光スポットや体験をオーダーメイドで巡るバスツアーも立ち上げました。現在は行っていませんがこの地域の魅力を直接お伝えすることができたと思います。

施設内に留まらず、現場に出てお客様や子どもと接する中で、反応をダイレクトに感じることがとても楽しく、やりがいに感じています。

Q4.今後の展望について教えてください

南房総の魅力は豊かな自然です。観光客を呼んで、この自然環境が崩れてしまうことはあってはならないと思います。この自然環境を守りながら、適切な人数と自然への負荷を考えた観光の形を模索する必要があると思います。そのためには、適度に人の手を加える必要もあると思います。一昨年の台風以降、山が荒れてしまっていて、今まで通れていた道も崩れてしまっています。景観を守り維持しながら、人と自然が調和した地域になればよいと思います。

取材：白井健（ネギ）

【北総エリア】

•ワイズスノー＆アウトドアスクール •NPO 法人佐倉みどりネット •一般社団法人千葉県環境財団 •千葉伝統郷土料理研究会 •さんむアクションミュージアム
•一般社団法人千葉県観光公社 •ヤックス自然学校 •林造園土木株式会社 •株式会社 HMC 東京旅行事業部 •有限会社銚子海洋研究所 •ピーちゃんクラブ
•ぬく森くらぶ •食と農の体験工房「よもぎ館」 •国民宿舎サンライズ九十九里 •「わたしの田舎」谷当工房 •スコープジャパン株式会社
•ちば千葉国際コンベンションビューロー •東京クラシッククラブ

【上総エリア】

•Live Stock •環南みんなの楽校 •上総自然楽校 •森林塾かずさの森 •千葉県立内浦山県民の森 •NPO 法人大山千枚田保存会
•NPO 法人市津•ちはら台自然学校 •特定非営利活動法人ちば里山センター •NPO 法人里山会 •株式会社かずさアカデミーパーク

【南房総エリア】

•一般社団法人森のようちえんはっぴー •NPO 法人たてやま•海辺の鑑定団 •岩井民宿組合
•白浜オーシャンリゾート •株式会社ちば南房総（道の駅とみうら 枇杷倶楽部、道の駅三芳村 鄙の里、
道の駅おおつの里 花倶楽部、道の駅ローズマリー公園、道の駅富楽里とみやま）•千葉県立館山野鳥の森
•千倉町民宿組合 •千倉オレンジセンター

一緒に千葉を元気にしませんか？
会員校募集中！
【お問い合わせ先は裏面をご覧ください】

千葉自然学校スタッフ紹介

武田 萌（めいそん） 千葉県立君津亀山青少年自然の家

群馬県富岡市出身。自然と生き物が好きで、時々散歩をしながらカメラで写真を撮っています。大学ではアニマルセラピーや環境教育について学んでいました。千葉に来てからは空いた時間に身近な自然をみて、触って、聴いて、色んな感覚を使って体験することで新しい発見に繋がっています。

一緒に自然の中の体験や発見してみませんか。
きみかめでお待ちしています。

きみかめで色々な体験や新しい発見をして、たくさんの人に身近な自然に興味を持ってもらいたいです。

【資格】
・プロジェクト・ワイルドエデュケーター
・NEAL リーダー自然体験活動指導者

【得意分野】
生き物の写真

【好きなこと】
写真/動物観察/散歩/

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ
・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす

千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

～ご寄付のお願い～

当法人の活動趣旨にご賛同いただいた企業・団体・個人の皆様からのご支援をお待ちしております。（一口3,000円）

▼振込先（郵便局/払込取扱票を使用）
振替口座　00170-5-259431
加入者名　特定非営利活動法人 千葉自然学校
※払込取扱票に以下のご記入をお願いいたします。
【住所氏名欄】ご住所、お名前、電話番号
【通信欄】「寄付」、領収書のご希望有無

▼振込先（銀行）
千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275
特定非営利活動法人 千葉自然学校
理事長 久保田 康雄
※お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・領収書のご希望有無を千葉事務所（下記）へお知らせください。

寄附団体ご紹介

- 学校法人中村学園ハッピースイーツ製菓専門学校 様
- 有限会社かしわや食堂 様
- 林造園土木株式会社 様
- 公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー 様
- スコープジャパン株式会社 様
- 株式会社 HMC 東京 千葉営業所 様
- 株式会社戸倉商店 様
- 株式会社富楽里とみやま 様
- ＮＰＯ法人国際自然大学校 様
- 有限会社原園芸 様
- 税理士法人 Tax ジャパン 様
- 株式会社千葉薬品 様

他（順不同）

発行：**NPO法人 千葉自然学校**

■千葉事務所　〒260-0015　千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル７階
電話：043-227-7103／FAX：043-202-7237
ホームページ：http://www.chiba-ns.net　メールアドレス：info@chiba-ns.net